

米国コレクションにおける日本古書 および稀観書

ロバート G. スーウェル著

伊藤尚武訳

“本稿は米国の大学、研究図書館における日本稀観書、古書の編成に関する、さまざまなパターンを検討することにある。稀観書、特殊資料コレクションの基準、保管とアクセス、書誌調整は主要大学および研究図書館、美術館における調査である。夫々の機関は、組織ならびに稀観と別扱いの基準に独自のパターンを確立しているため、日本語稀観図書に関して、普遍的な合意や規準を得ることは不可能であり、おそらく不要であろう。しかしながら、この資料の大部分に関しての十全な書誌調整の欠如は、容易ならぬ問題である”。

欧米図書館への東亞語資料の統合は、さまざまな問題をもたらす。即ち東亞語資料を西欧語資料とともに併架すべきか、あるいは別置すべきか。目録カードを総合カード目録に配列すべきか、別箇のカード目録にすべきか、双方にすべきかといった事がある。これらは東亞語資料を所蔵する図書館が決定しなければならない基本的命題である。稀観書、古書、写本を扱う場合、事態は更に込み入ったものとなる。その特異な性質のゆえに、しばしばより専門的な取扱いを必要とする。

本稿は米国の図書館、美術館が日本語稀観書、古書、写本のコレクションに関して、どのように規定し、編成し、アクセスを許可し、書誌調整を行っているかを分析しようとするものである。

本稿はいくつかの主要大学図書館——カリフォルニア(バークレー)、シカゴ、イ

リノイ、インディアナ、ハーバード(ハーバード燕京、フォッグ美術館)、イェール、コロンビア、ミシガン——およびニューヨーク公共図書館、議会図書館、シカゴ美術研究所、フィールド博物館、ボストン美術館、ニューヨーク・メトロポリタン美術館——のコレクション調査に基づいている。

稀観書、特殊コレクションの基準

第一の関心事は日本の古い資料の稀観書、特殊コレクションを確定するための基準である。銭存訓(Tsuen-hsuen Tsien)が米国アジア学会東亞図書館協議会(Asian Studies' Committee on East Asian Libraries)のために定期的に行っている、米国図書館における東亞語コレクション調査は、稀観書の情報をも含んでおり、本調査についても貴重な出発点を提供した。銭は、⁽¹⁾稀観の三基準として、西暦1600年以前の版

本、写本、優れた印刷と規定している。本調査では、特に“稀観”と指定されている日本語資料はいうまでもないが、より大きな枠組み内で、そのように指定されていなくても、注目に値する特徴を備えた日本語の資料群をも対象にしている。これらの特質には、形態、古い刊行年、特殊な主題による資料群をも含む。日本語資料は、東亜図書館に所蔵されているだけでなく、特殊な国際コレクションや美術館でも見受けられる。

刊 年

図書館にとって、刊年は“稀観”の決め手として、最も簡単な方法である。日本語図書、写本類の刊年を証明するのは、正確性の点で多くの困難を伴う。17世紀中葉以前の出版物には、しばしば、刊年の表示がなされていない。刊年が表示されている場合も、後年の写しであったり、木版刷りの

場合は、後年の刷りや、新たな板木が初版の刊年を留めていることもあり得る。ともあれ刊年の証明については、技術的問題が如何なるものであったとしても、図書館は通常、稀観性に関する年限を規定している。⁽²⁾

米国の図書館では、このような年代に関する申し合せは殆んど存在しない。カリフォルニア大学パークレー校東亜図書館は米国のコレクションの中で、稀観性に関し、最も古い年限：1660年を規定している。ワシントン大学極東図書館は1700年以前を“稀観”と記述している。イリノイ大学貴重書室は1701年以前の日本の版本を選定している。他方ハーバード燕京図書館は1799年以前に刊行された日本語図書を貴重書室に置いている。シカゴ大学極東図書館は、明治前、または1868年以前の出版物を稀観と規定している。

上記の夫々の年時には、書誌的、歴史的理由があり、大方の米国の図書館は日本語図書の稀観性に関して、年時を決定していなかったという事実がある。ほかの基準は、稀観、あるいは特殊な日本語資料かを区別するのに利用される。

稀 少 性

特殊な出版物の稀少性は、広く認められた稀観書の基準である。しかし、ある作品の部数の多(寡)が、如何なる場合、稀観書とするかという明細な基準は存在しないと思われる。“優れた印刷”という基準も、漠然としたもので、通常は、その作品の刊年、歴史的意味合い、あるいは印刷技術、価格といった他の考えに関連づけられたものである。

形 態

形態は、しばしば稀観書と別扱いを確

本論文は R.G. Sewell “Old and Rare Japanese Books in U.S. Collections” (College & Research Libraries, May 1978, Vol. 39, Nr. 3) の翻訳である。著者 R.G. Sewell 氏は、現在イリノイ大学東亜図書館教授で、1977年8月から78年1月まで、国際交流基金の特別研究員として来日され、古活字版の研究に勤められた。教授の博士論文は、日本文学の思想的背景を主題とするものだが、米国で数少ない日本関係書誌学者として知られる少壮の研究者である。本論は本格的な研究ではなく、むしろ実地調査に基づく、米国における日本古書の実態報告と提言である。日本の読者を対象に書かれたものではないため、あるいは内容的に馴染みぬ部分もあるかもしれないが、米国の主要な日本古書コレクションを俯瞰するのに恰好の論文であろう。なお原文にはイリノイ大学図書館貴重書室資料5点の図版が付されている。帰国直前の多忙の中、草稿段階で写しを手渡された Sewell 教授と、訳載許可をくださった A.L.A. CopyRights Office の Heinz 女史にお礼を申し上げたい。(伊藤)

定する。写本、手跡、軸物は概ね図書館界では特別の管理のもとにおかれる。これらの作品類が稀観書の範疇、あるいは特別管理という独自の方法を採られる理由は、その特異性（写本は結局のところ一種類一点である）と形態が変則的で、排架する上での困難さのためである。コロンビア大学東亜図書館と、議会図書館東洋部では、“奈良絵本”を鍵つきの排架キャビネットに収納している。⁽³⁾

コロンビア大学は、また他の日本語特殊コレクションに、形態を配慮した考え方を採っている。コロンビア大学東亜図書館ではそれ自体は稀観書の範疇に入らなくても、すべての和綴本を書庫内の鍵のかかる金網内書架に置いている。“和本”の別置は米国のコレクションでは珍しいものである。パークレー東亜図書館は地図と写本のふたつのコレクションを同一形態の作品でまとめるため、稀観、非稀観書併せて保管している。これらのコレクションは、1660年以前の刊年をもつ、主要な版本で構成された貴重書室のコレクションとは区別される。地図コレクションは、17～19世紀に刊行された、おもに木版と銅版刷りの日本古地図約2,000点からなっている。このパークレーの地図コレクションに拮抗し得る日本地図コレクションは、日本を含めてほとんど存在しない。東亜図書館の写本コレクションは概ね7,000冊からなり、大半は20世紀以前のもので、主題は文学から政令まで広く及んでいる。同じく芥川竜之介、幸田露伴、坪内逍遙など現代作家の貴重な草稿もある。

形態で区別され、国によって規定されない他のコレクションはニューヨーク公共図書館のスペンサー・コレクションである。このコレクションは1912年、ウィリアム・

オーガスタス・スペンサー（William Augustus Spencer）の基金とフランス絵入本コレクションの寄贈にかかる。基金による収入は、“国、言語、時代を問はず、最良の絵入本、写本の購入にあてられるべきである”というものだった。⁽⁴⁾ スペンサー・コレクションは、絵入本形態のものでは、現在、世界最大のコレクションのひとつである。コレクションの枢要な部分は日本のもので、8世紀から20世紀までの絵入写本（おもに絵巻物、軸物）300余点、絵入本1,200点からなり、大方は明治以前のものである。

^(訳注1)
（装丁された作品で、かつ優れた本文を備えた作品を意味する）コレクションの、図書としての特性は、ニューヨーク公共図書館で日本の一枚刷りものが、版画部に保管されている事によって実証される。

形態は、また美術館で資料をまとめる場合に利用される主要な区分となり得る。美術館はそのような観点から稀観書や図書を蒐集はしない。彼らは、その美術的価値によって蒐集する。しかしながら美術コレクションにおいて、図書を配置するひとつの方法は、その形態による。装丁された作品を図書として排架しなければならないためである。

ボストン美術館アジア部は、浮世絵の発達に関する絵入本約500点を所蔵している。しかるにこれらは日本版画コレクションと共に保管され、通常は、すべて著名な描き手の名前によりアルファベット順に、併せてキャビネットに配列されている。これらの図書は、目録がなく、また書誌調整がなされていないため、装丁された形態ではあるが、他の出版物とは区別される。

主 題

いくつかの特殊コレクションが、形態によってまとめられているのに対し、他のコレクションは、主題によって輪郭がつけられている。この種の最も明解なコレクションの例はインディアナ大学性科学研究所図書館の日本語資料である。これらの作品は、性的な内容のゆえに蒐集された。しかし、研究所の日本語資料は特殊なもので、かつ稀少価値をもっている。作品のほとんどは、徳川時代のもので、現代のものは手書きの絵入りものである。性科学研究所にある概数40点の日本の作品は枕絵本、花嫁手引書、好色本である。

コレクションの系統

特殊コレクションが、その特徴をそなえることとなるもうひとつの性質は、その系統である。いくつかの図書館は、単一の出所から受贈したコレクションが、特に調和のとれた一群である場合、手をつけずに保管している。このようなコレクションのひとつは、シカゴのフィールド博物館極東部閲覧室に置かれているローファー・コレクションである。このコレクションは、フィールド博物館に由縁のあった著名な東亜文化人類学者バーソルド・ローファー (Berthold Laufer) によって、1907年に日本で蒐集された。これら100余点の作品は、日本に関する文化人類学研究のために選書されたもので、中国語、日本語研究書はもとより、考古学、工芸、地誌、仏教史籍、古辞書、百科事典類の分野にわたっている。コレクションは、17、8世紀の版本類を僅かにかぞえ、大半は19世紀以降のもので、稀観書と、さほど珍しくないものとの集成である。ローファー・コレクションは、手つかずに保管されているばかりか、そのい

くつかのものは当初の包装のままである。

インディアナ大学リレイ図書館のチャールズ・R. ボクサー・コレクション (Charles R. Boxer Collection) はひとまとめに排架されてはいないが、系統をはっきりと維持しているもうひとつのコレクションである。ボクサー・コレクションは、蘭学関係の日本語資料約60点を含むヨーロッパの拡大に関するさまざまな言語の作品からなっており、別箇の書架目録がある。オランダ人は17世紀から19世紀中葉に至るまで、日本で認められた唯一の西洋人であったため、蘭学は江戸時代に隆盛を極めた。徳川時代の長崎、江戸の地図、旅行案内、医学、科学およびオランダ語などである。これらの資料は、“*Jan compagnie in Japan, 1600~1850*” (The Hague, Nijhoff 1950) という、日本におけるオランダの影響を扱った、ボクサーの代表的著作の根本資料と図版とを提供した。

(訳注2)

議会図書館東洋部は、最初の蒐集者によってわかる、いくつかのコレクションを持っている。これらにはノイエ・コレクション、朝河コレクション、坂西コレクションが含まれる。ノイエ・コレクションは、もともとは、1906年にワシントンのジャーナリストだったクロスビー・スチュアート・ノイエ (Crosby Stuart Noyes) の議会図書館への寄贈にかかる。水彩画、原画、写生帖、木版画、石版画を含む日本美術作品と658点の、主として“画譜”と“画帖”の広汎な取合せである。ノイエの当初の寄贈から、一枚刷りものは版画部に移管された。しかしすべての図書類は現在東洋部に保管されており、ノイエ・コレクションとして公式に知られる。他のふたつのコレクションの名称は、議会図書館のために購入された図書のグループを、明示するために使わ

れる非公式の名称で、大部分は別置本の形で保管されている。朝河コレクションは、1907年、議会図書館々長に委託された歴史学者朝河貫一の蒐集旅行の成果である。主題分野は多岐にわたっているが、主力は日本仏教で、この分野に関しては日本国外で最良のものであろう。朝河による判断のひとつの不幸な蹟きは、日本の原装丁をこわし、欧風の布や皮の本に装丁を改めたことであった。欧米様式に装丁された朝河コレクションは未整理で、東洋部書庫内の別区に排架されている。

坂西志保が東洋部日本課長として在任していた1930年から1942年の間に、多くの優れた明治以前の図書が購入された。これらには黄表紙300点、源氏物語、万葉集研究のいくつかの古版、またかなりの数にのぼる八文字屋本が含まれている。坂西が蒐集したうち、僅かのもが東洋部の日本十進コレクションとして、整理されているが、その大方は未整理の状態、東洋部書庫内に排架されている。

日本稀覯文献のふたつの代表的なコレクションは、日本人卒業生による、米国の母校への寄贈である。この寄贈のひとつは、ハーバード法学校の日本人卒業生からのものである。1936年、ハーバード創立300年記念祭にあたって、東京大学はハーバード大卒業生たちによって、日本法制史を扱った図書のコレクション蒐集を委託された。この分野では日本国外で最大規模のコレクションであり、最近、進取の気性に富む法学部大学院生ジェームス・カンダによって、倉庫の中で発見された。カンダは、法典類、裁判官と法学者の個人日記からなるこの珍しいコレクションを自ら整理した。60%は写本類で、90%が明治以前のものである。最も古いものは12世紀からである。ま

た明治の法典と憲法の初期の版と草稿類がある。

もうひとつの卒業生コレクションは、日本イエール会コレクション (Yale Association of Japan Collection) で、米国における日本稀覯文献の最も印象深い一群である。この図書の寄贈は1935年イエール大学によって受領された。黒板勝美東大教授が、写本、版本に反映されている日本文化の発展を例証する図書の蒐集を、日本イエール会に委託された。

日本イエール会コレクションは、地誌、芸術、文学、宗教、教育、習慣と儀礼、庶民文化、工芸、版画など広汎な主題の約350点を包含している。いくつかのものは複製であるが大部分は原本で、11世紀から18世紀までの史料と、8世紀まで遡る仏典写本の特に秀逸な代表作品を含んでいる。

8世紀に印刷され、小さな仏塔に収められた印刷物である百万塔陀羅尼3点、勅版、私家版の古活字本；更に中国、朝鮮、特に日本の写本、版本稀覯書の影印本である1932～34年のコレクションといった、多くの印刷物の実例がある。

保管とアクセス

日本稀覯資料の保管には、以下のような3通りの基本的パターンがある。ワシントン大学、シカゴ大学東亜図書館のように、東亜コレクション内の別区のもの；日本イエール会コレクションのあるイエール大学ベイネッキ稀覯書・稿本図書館におけるように、それ自体で図書館を構成している国際的な稀書コレクション；ニューヨーク公共図書館のスペンサー・コレクションやインディアナ大学性科学研究所を例とする特殊な国際コレクションの別の種類のもの。

日本語資料特殊コレクションへのアクセ

スには、開放的なものから保守的なものまで、基本的には4つのパターンがある。ハーバード燕京図書館のように、研究者が単独で、直接稀観書の書庫に立入ることを認めているいくつかのコレクション。ワシントン大学東亞図書館、ハーバード・フォッグ美術館では図書館、美術館員が同伴する場合に限って、利用者は直接接架出来る。イェールではベインェッキ図書館の書庫内に立入ることは許されていない。それゆえ日本イェール会コレクションの各資料は、非公式に文献を利用し得る研究者に手渡される。これはミシガン大学アジア図書館パートレット・コレクションの場合も同様のケースである。文献利用に関して、最も厳しい制限策は、ニューヨーク・メトロポリタン美術館極東部でみられる。資料は、利用者のところまで持参されるが、利用者は、しばしば手に触れることさえ制限を受ける。筆者の場合、美人の浮世絵本のページは担当職員によってめくられた。

書誌調整

書誌調整は、コレクションを十全に利用するための基本である。稀観書および特殊コレクションに所蔵されている資料記録の維持方法はかなり多様である。完全な図書館目録はおそらく書誌調整の理想の方法であろう。

ミシガンのパートレット・コレクションは公開目録のカードとともに整理されている。パークレーの東亞図書館貴重書室にある1660年以前の“稀観”版本は、完全に整理されている。これらに関する図書館カードは、“貴重書室”と付記され、著者目録に見出される。地図と写本コレクションは、いずれもカード目録に示されていない。更に、イリノイ、シカゴ、ハーバード

燕京の稀観書コレクションは、完全に整理されているうえ、別に書架リストを持っている。

図書目録

コレクションに書誌的にアクセスする別の方法は、冊子体の印刷目録である。これは広汎な頒布という付加の可能性を持つ。スペンサー・コレクションは、その所蔵日本資料に関する公開目録を持たないが、これらの作品は1971年に刊行された“*New York Public Library's Dictionary Catalog and Shelf List of the Spencer Collection of Illustrated Books and Manuscripts*”の第2追録に、書店や蒐集者の手になる解説をつけて、時系列に収載された。

(5)
米国の日本語文献コレクションの出版された目録で最も著名なものは、おそらくトダ・ケンジの“*Descriptive Catalogue of Japanese and Chinese Illustrated Books in the Ryerson Library*”である。本書はシカゴ美術館に所蔵される日本絵入本の目録である。これらの図書は、ほとんど全部がアーネスト・フェノロサ、ルイーゼ・ノートン・ブラウンという日本絵入本研究における欧米の先駆者二人のコレクションを蒐集したものである。トダは、1,000点を越える作品を時系列化し、完全な索引を作成した上に、個々の作品を解説し、歴史的背景について記述している。本書は目録を越えるもので、1600年から1865年までの印刷と絵画史および徳川時代の総合的な文化史の学術研究である。現在、トダの“*Descriptive Catalogue*”は残念ながら絶版となっている。

同規模のもので、日本史の更に古い時代に焦点をあてた同種の目録は、朝河貫一の

“Gifts of the Yale Association of Japan”である。1945年に作成された本書は、個々の作品の完全な解題とコレクションの文化的背景に関する有益な小論を収めている。朝河の目録は、日本イニール会コレクションの唯一の目録で、イニール大学東亜図書館とベイネッキ図書館で、僅か数部のタイプ版のものが利用出来るだけである。

特殊カード・ファイル

稀覯書および特殊コレクションにある資料は、またカード・ファイルに記録され得るが、これらは、個々の資料が完全に整理されるまで、図書館実務で、当座しのぎの目録として利用されている。基本的書誌情報を持つ予備カード・ファイルは、フィールド博物館極東部のローファー・コレクションに関してはある。パークレーの東亜図書館の古地図コレクションは、タイプ書きの書架リストが存在するのみで、その写本コレクションは部首索引に基づく書名によって、カード配列された簡略目録に表示されている。

コロムビア大学東亜図書館の“和本”コレクションの資料で公開目録に表示されているものはほとんどない。大方はカード・ファイルに記載されており、利用者は図書館員に依頼しなければならない。“和本”カード・ファイルは書名をアルファベット順にまとめたもので、副出、参照等はない。書誌調整の点で、この手段の不充分さは、利用者が“和本”コレクションが排架されている書庫への立ち入りと立ち読みが許されないことで、更に倍加される。

美術館における実際

美術館は、各美術館蔵品を記録したカー

ド・ファイルと同種のものを持っている。美術館の目録や整理は、当然のことながら美術史家のためで、書誌学者のために企図されたものではない。それゆえ、原文の資料を探し出すことは困難であろう。しかしながら、美術コレクションは美術品として購入された日本図書、写本と、記述された日本文化の宝庫であり、そのために美術館カード・ファイルの原則のいくつかを知るために研究者の時間を割くに値する。

美術館カード・ファイルは、通常、時代順に整理され、ジャンルによって再区分されている。利用者は“室町絵画”の標目で、中世の絵入写本を見出せる。図書は“絵入本”の共通標目であるため、更に簡単に探し得る。この標目のもとで、例えばメトロポリタン美術館東亜美術部のカード・ファイルで、徳川時代以降の絵入詩歌集のかなりのものを探し得る。ハーバード・フォッグ美術館における、アジア印刷および絵画のホッファー・コレクション、日本図書・写本のハイド・コレクションの精選作品など、常置コレクションに関するファイルは、すべてラベル図書館にある。ホッファーとハイド・コレクションは、特に徳川以前からの仏教関係の多数の豊富な類例と文学作品を収めている。

書誌類

特殊コレクションの所蔵書誌は、書誌調整のもうひとつの形である。印刷カードと同様にかようなリストは、関心を抱く人びとに無料で頒布する利点がある。ハーバード大学法律学校の日本人卒業生コレクションは、完全に整理されている上に、ジェームス・カンダによる完全なリストがある。

おそらく米国における日本稀覯書の最も重要な書誌が、現在、議会図書館東洋部の

アンドリュー・クロダによって編纂されつ
つある。東洋部所蔵のすべての明治以前の
（訳注4）
の版本が、包括リストに記録されている。この
事業は、ほとんどがかって整理されたこと
がなく、整理しようともされないままの、
この分野の4,000部を越える図書があ
ることからも、特筆すべきものである。か
くして他の多くのコレクションと同じく、
坂西、朝河コレクションの資料が、組織的
に記録され、関心を抱く学者に初めて知ら
れることとなるだろう。

展示会目録

包括的リストではないが、看過すべきで
ないものにコレクション案内書類という他
の形がある。選別案内書のひとつは、コレ
クションの内容を強調する展示会目録であ
る。これらのいくつかは、事実上、モノグ
ラフにまで敷衍されるが、それらは一般参
考文献や学術論文として利用され得よう。

ふたつの著名な例は、ミシガンのパート
レット・コレクションに関する“*Japanese
Botany During the Period of Wood-
Block Printing*”と、もともとはホッファ
ー、⁽⁶⁾ハイド・コレクションの巡廻展示会
のために、フォッグ美術館員たちによって作
成された“*The Courtly Tradition in
Japanese Art and Literature*” (Cam-
bridge: Fogg Art Museum, Harvard
University, 1973) である。“*Japanese
Botany During the Period of Wood-
Block Printing*”は、ミシガン大学クレメ
ンツ図書館における1954年の展示会の折
に、パートレット・コレクションの作品に
関して、完全な解題と図会を提示し、更に
日本の科学史、特に植物学および徳川時代
の図書出版と図会との相互関係の発展に関
する小論を収めている。

“*The Courtly Tradition in Japanese
Art and Literature*”は、“日本古典文芸”
あるいは日本芸術の洗練された、高尚な伝
統に関する展示会のテーマと調和した、学
術的にも趣味的にも出色のものである。

おもに仏教関係、文学の写本、徳川以前
の図書で構成された、この展示会目録は文
学、仏教および日本の典雅な伝統に関係し
た文学、図書、芸術作品に関する基本参考
図書である。

むすび

結論として、本調査の結果に基づき、い
くつかの勧告が提起されよう。日本語資料
における稀覯性の設定についての学術的討
議は有益であろうが、筆者は稀覯性の普遍
的な基準を確定すべきだとは考えない。夫
々の図書館は稀覯書あるいは特別書とし
て、選別すべき資料を自ら決定するべきで
ある。この資料の保管場所、あるいは形態
は、基準の問題と極めて密接に関係してい
るがゆえに、この問題はまた個々の図書館
に任せるべきである。

夫々の図書館は、独自の保全問題をかか
えてはいるが、アクセスの規制は解放され
るべきであろう。研究者にとって、閉架式
書庫への直接のアクセスは、特に書誌調整
が不十分な場合には、何処であろうと可能
な限り、許容されるべきである。

日本語稀覯書および特殊コレクションに
関する効果的な書誌調整は、高い優先順位
を与えられなければならない。そのことな
しには、これらのコレクションは実質的に
役に立たない。もし図書館がこの分野に関
して、時間がなく、専門の見解に欠けるの
であれば、東亜図書館が、かような企画を
引受け得る専門の助言者の体制を整えるこ
とが望ましい。

印刷カード、展示会目録、書誌の刊行を奨励すべきである。そうすれば、関心を抱く研究者、図書館員に利用可能となろう。この点からトダ・ケンジのライアーソン・コレクションの記述目録の再刊と、朝河貫一の“*Gifts of the Yale Association of Japan*”が、改訂されて、まず出版に付されるように、筆者は強く勧告する。

日本の稀覯書、古書は全米を通じて、東亜図書館、美術館に存在している。ここで示唆した方法により、この資料の認識のレベルを引きあげることで、活気ある学術プロジェクトは果たされ得るし、東亜図書館学と日本研究に対する基本的サービスが与えられる。

注

- (1) 銭存訓の東亜語資料稀覯書および特殊コレクションの報告は、以下のものに見出される。G. Raymond Nunn, Tsuen-hsui Tsien “Far Eastern Resources in American Libraries” *Library Quarterly* 29: 32-37 (Jan. 1959), “Rarities and Specialties of East Asian Materials in American Libraries” in Tsuen-hsui Tsien, Current Status of East Asian Collections in American Libraries: *A Report for 1974/75* (Washington D.C.: Center for Chinese Research Materials, Association of Research Libraries, 1976), p.39-47. 銭の稀覯性と特殊性……は、また Tsuen-hsui Tsien “Current Status of East Asian Collections in American Libraries” *Journal of Asian Studies* 36: 509-14 (May 1977) にも出

ている。

- (2) 日本の図書館における稀覯性に関する下限のいくつかは：京都大学図書館では、元和期、あるいは1615年以前の日本の版本、慶長期、あるいは1615年以前の写本、国立国会図書館では、版本、写本ともに慶長期初、あるいは1596年を年限としている。植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』（東京有隣堂 1967）p. 112-13
- (3) 東亜図書館に関する本稿の情報は、当初、カナダのトロントで1976年3月19-21日に開催された第28回アジア学会年次総会での由谷英治“Japanese Rare Books and Special Collections in the East Asiatic Library, University of California Berkeley; A Preliminary Survey.”で与えられた。
- (4) *The New York Public Library's Dictionary Catalog and Shelf List of the Spencer Collection of Illustrated Books and Manuscripts* (Boston, G.H. Hall, 1971), I, iii
- (5) 同上, 2:917-31,934-61.
- (6) Harley Harris Bartlett and Hide Shohara, “Japanese Botany During the Period of Wood-Block Printing” in *The Asa Gray Bulletin*. n.s. 3, Nos. 3-4 (Spring 1961)
- (訳注1) 本コレクションについては、反町茂雄氏の『日本絵入本及絵本目録 スペンサーコレクション蔵』増訂版 弘文荘昭53 がある。当館請求記号 UP 74-6
- (同 2) 当館請求記号 952.025-B788j2
- (同 3) 当館請求記号 015.52-T633d
- (同 4) 現米国議会図書館東京事務所長

(Robert G. Sewell イリノイ大学極東図書館図書管理教授 いう・なおたけ一般参考課主査)